

# HP UPSネットワーク モジュール インストラクション インストラクション

## Translated instructions

For translated instructions, see the documentation provided on the HP website ([http://www.hp.com/support/HPNM\\_Manuals](http://www.hp.com/support/HPNM_Manuals)).

## 翻訳版インストラクション

翻訳版のインストラクションについては、HPのWebサイト [http://www.hp.com/support/HPNM\\_Manuals](http://www.hp.com/support/HPNM_Manuals)（英語）で提供されるマニュアルを参照してください。

## 概要

HP UPSネットワーク モジュールを使用すると、ネットワーク接続を介して複数のデバイスの電源環境を監視、管理、および制御できます。UPSネットワーク モジュールは、設定済みの受信者にEmail通知、指定したSNMPマネジメント プログラム（HP Systems Insight Managerなど）にアラート トラップを送信できます。また、スタンドアロンの管理システムとして使用することもできます。

安全と規定に関する注意事項を含む、本書で取り扱われている各項目について詳しくは、『HP UPSネットワーク モジュール ユーザー ガイド』（HPのWebサイト[http://www.hp.com/support/HPNM\\_Manuals](http://www.hp.com/support/HPNM_Manuals)）を参照してください。

サポートされるUPSについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/jp/servers/ups>を参照してください。

## 注意事項

UPSキットに付属の『安全に使用していただくために』をよく読んでから、製品の取り付けを開始してください。

**警告：** 高電圧による感電の危険があります。オプションの取り付け、この製品の定期点検および保守については、AC電源製品の取り扱い手順、注意事項、および危険性を熟知している専門の担当者が行ってください。

## キットの内容

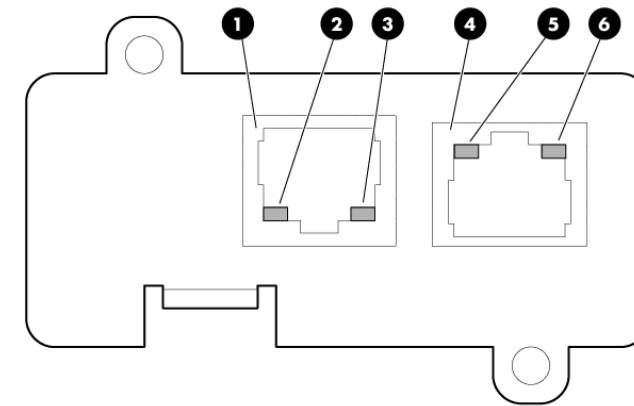
- 本書
- 保証情報
- UPSネットワーク モジュール（製品番号 AF465A）
- DB-9 to RJ-45ケーブル

UPSネットワーク モジュール ファームウェアの最新版をダウンロードするには、HPのWebサイト[http://www.hp.com/jp/servers/ups\\_manage](http://www.hp.com/jp/servers/ups_manage)を参照してください。

## 必要な工具

プラス ドライバー（No.2）

## フロント パネルのコネクターとLED インジケーター



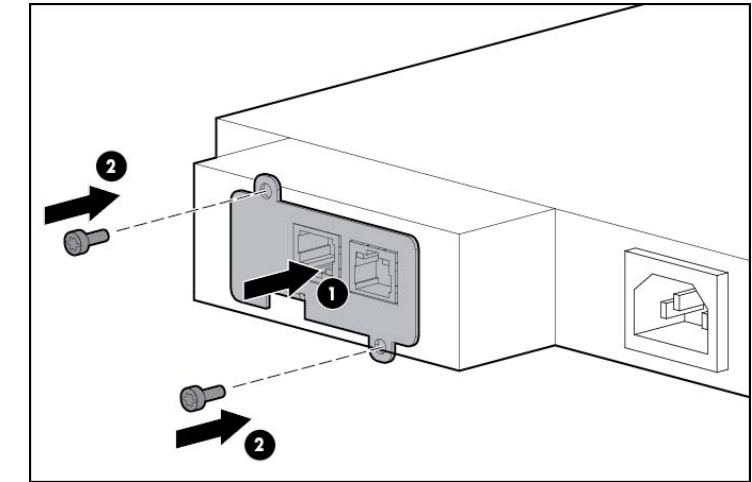
| 番号 | コネクター/LED   | 説明  |
|----|-------------|---|
| 1  | ネットワークコネクター | Ethernetポート   |
| 2  | ネットワーク動作LED | <ul style="list-style-type: none"><li>• 消灯 - UPSネットワーク モジュールは、ネットワークに接続されていません。</li><li>• 緑色で点灯 - UPSネットワーク モジュールはネットワークに接続されていますが、動作は検出されていません。</li><li>• 緑色で点滅 - UPSネットワーク モジュールは、ネットワークに接続され、データを送信または受信しています。</li></ul> |
| 3  | ネットワーク速度LED | <ul style="list-style-type: none"><li>• 消灯 - ポートは10Mb/秒で動作しています。</li><li>• オレンジ色で点灯 - ポートは100Mb/秒で動作しています。</li></ul>  |
| 4  | 設定/AUXコネクター | 設定ポート   |
| 5  | UPSデータLED   | <ul style="list-style-type: none"><li>• 消灯 - UPSネットワーク モジュールが起動しています。</li><li>• 緑色で点灯 - UPSネットワーク モジュールがUPSと通信しています。</li><li>• 緑色で点滅 - 通常動作（通信リンクが確立されています）</li></ul>   |
| 6  | 設定メニューLED   | <ul style="list-style-type: none"><li>• 消灯 - 設定メニューを使用できます。</li><li>• オレンジ色で点灯 - 通常動作（設定メニューは使用できません）</li></ul>   |

## UPSネットワーク モジュールの取り付け

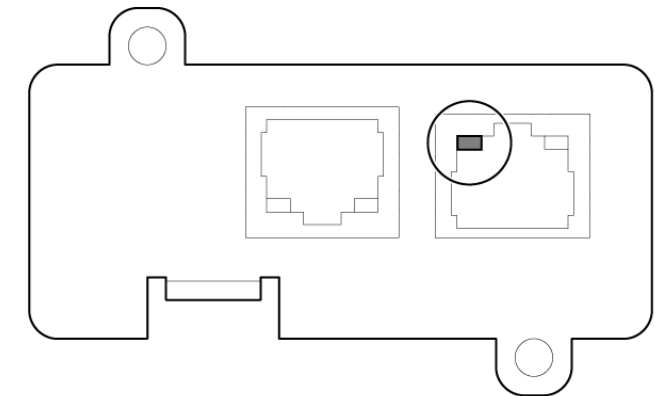
**注：** UPSネットワーク モジュールの取り付け前に、UPSの電源を切る必要はありません。

1. UPSオプション スロット カバー プレートを固定している2本のネジを取り外し、スライドさせてプレートを引き出します。

2. オプション スロットの溝に沿ってスライドさせながら、UPSネットワーク モジュールを取り付けます。



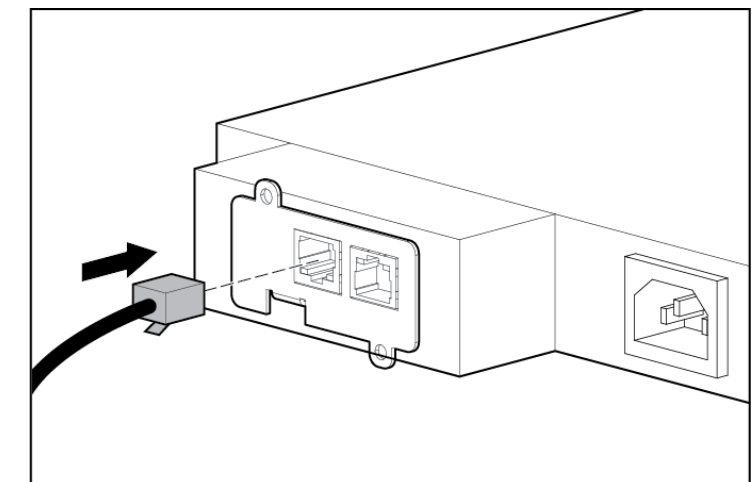
3. UPSに電源が入っている場合、UPSデータLEDが緑色で点灯し、2分後に定期的な点滅を開始すれば、UPSネットワーク モジュールがしっかりと固定され、UPSと通信していることを確認できます。



4. 手順1で取り外した2本のネジを使用して、UPSネットワーク モジュールを固定します。

## ネットワーク ケーブルの接続

UPSネットワーク モジュールのネットワーク コネクターとネットワーク ジャックを、標準のEthernetケーブルで接続します。



© Copyright 2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

製品番号 637917-191  
2010年12月（初版）

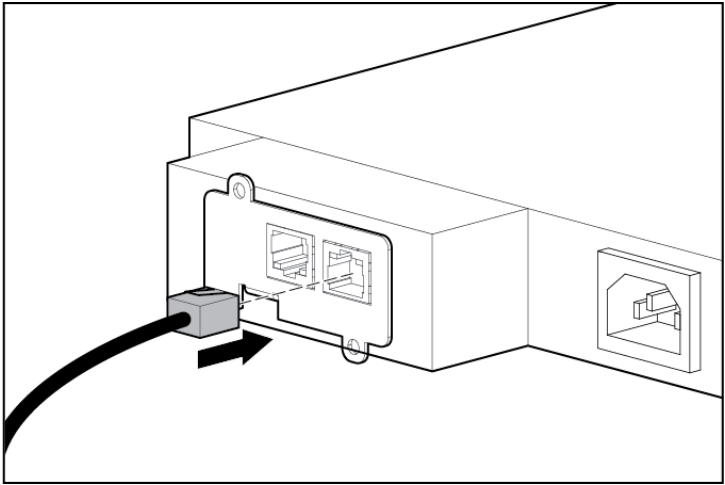


637917-191

この接続は、Webインターフェイスを使用してリモートからUPSネットワーク モジュールにアクセスするために使用します。UPSネットワーク モジュールは、設定済みHP Power Protector - Clientとの通信や、SNMP ベースの監視を円滑に行うためにもネットワーク接続を使用します。

## 設定用ケーブルの接続

1. ホスト コンピューターのシリアル コネクタに、DB-9 to RJ-45 ケーブルのDB-9コネクタを接続します。
2. UPSネットワーク モジュールの設定/AUXコネクタに、DB-9 to RJ-45ケーブルのRJ-45コネクタを接続します。



この接続は、端末エミュレーション プログラムでUPSネットワーク モジュールのネットワーク設定にアクセスしてローカルで設定する際に使用します。

## 端末エミュレーション プログラムの起動

**注：**ハイパーターミナルは、Microsoft® Windows®に付属のシリアル通信プログラムです。この項では、ハイパーターミナルを例に、端末エミュレーション セッションのセットアップについて説明します。別のユーティリティを使用する場合は、手順が異なる可能性があります。

1. UPSの電源が入っていることを確認します。
2. ホスト コンピューターで、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]、[アクセサリ]、[通信]、[ハイパーターミナル]の順に選択します。  
[接続の設定]ウィンドウが表示されます。
3. 名前を入力し、接続用のアイコンを選んで、[OK]をクリックします。[接続の設定]ウィンドウが表示されます。
4. DB-9 to RJ-45アダプターを接続した、ホスト コンピューター上のシリアル コネクタを選択して、[OK]をクリックします。[COMのプロパティ]ウィンドウが表示されます。
5. 次のパラメーター値を選択して、[OK]をクリックします。
  - ビット/秒 - 9600
  - データ ビット - 8
  - パリティ - なし
  - ストップ ビット - 1
  - フロー制御 - なし

## UPSネットワーク モジュール ネットワーク設定値の指定

ホスト コンピューター上で実行されている端末エミュレーションセッション画面で、次の操作を行います。

1. 任意のキーを押します。初期化プロセスが完了すると、パスワードの入力を指示するメッセージが表示されます。
2. プロンプトに、adminと入力します。HP UPSネットワーク モジュールの設定メニューが表示されます。

HP UPSネットワーク モジュールの設定メニューを使用して、UPSネットワーク モジュールにリモートからアクセスするための最小限の設定を行います。



**重要：**UPSネットワーク モジュールに割り当てるIPアドレスは、固定されている必要があります。IPアドレスが変わると、次の問題が発生します。

- UPS Power Protection - ClientがUPSネットワーク モジュールと通信できなくなります。
- UPSネットワーク モジュールのURLが認識されなくなることがあります。

3. ご使用のネットワークがDHCPサーバーを使用するように設定されている場合、ネットワーク設定は自動的に割り当てられます。設定値を表示するには、以下の手順に従ってください。
  - a. メイン メニューのプロンプトで、2を入力して[Network Configuration]サブメニューを開きます。
  - b. 1を入力して、ネットワーク設定を読み取ります。
  - c. IPアドレスを記録します。
  - d. 0を入力してメイン メニューに戻ります。
  - e. 0を入力して、HP UPSネットワーク モジュールの設定メニューを終了します。UPSネットワーク モジュールが、稼動状態になります。
4. ネットワークがDHCPサーバーを使用するように設定されていない場合は、次の操作を行います。
  - a. メイン メニューのプロンプトで、2を入力して[Network Configuration]サブメニューを開きます。
  - b. 2を入力して、ネットワーク設定を変更します。
  - c. 画面の指示に従って、静的IPパラメーターを入力します。パラメーターが保存されると、Doneメッセージが表示されます。
  - d. 0を入力してメイン メニューに戻ります。
  - e. 1を入力してリセットし、次に2を入力して、UPSネットワーク モジュールを新しいIP設定で再起動します。

## Webインターフェイスへのアクセス



**注意：**ファイアウォールまたは分離されたネットワークを使用して、UPSネットワーク モジュールへのブラウザー アクセスを外部アクセスから隔離することを強くおすすめします。

1. ネットワーク コンピューター上で、サポートされるブラウザーを起動します。ブラウザーのウィンドウが表示されます。
2. [アドレス]フィールド（Microsoft Internet Explorerの場合）またはロケーション フィールド（Mozilla、およびFirefoxの場合）に、次を入力します。

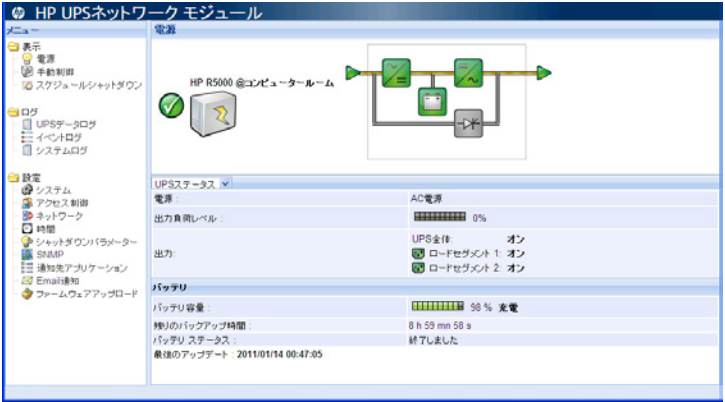
http://xxx.xxx.xxx.xxx

または

https://xxx.xxx.xxx.xxx

ただし、xxx.xxx.xxx.xxxは、UPSネットワーク モジュールの静的IPアドレスです。ログイン画面が表示されます。

3. [ユーザー名]フィールドにユーザー名を入力します。デフォルトのユーザー名はadminです。
4. [パスワード]フィールドにパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは、adminです。
5. [サイン イン]をクリックします。HP UPSネットワーク モジュールWebインターフェイスが表示されます。



## UPSネットワーク モジュール設定値の指定

HP UPSネットワーク モジュールWebインターフェイスの各設定画面を使用して、UPSネットワーク モジュールを設定します。詳しくは、『HP UPSネットワーク モジュール ユーザー ガイド』（HPのWebサイト [http://www.hp.com/support/HPNM\\_Manuals](http://www.hp.com/support/HPNM_Manuals)）を参照してください。

## 技術特性

| 項目                | 説明  |
|-------------------|---|
| 物理特性              |   |
| 寸法（幅×奥行き×高さ）      | 132×66×42mm   |
| 重量                | 70g   |
| RoHS              | 100%互換  |
| 保管                |   |
| 保管時の温度範囲          | -10～70°C  |
| 周囲の状態             |   |
| 動作時の温度範囲          | 0～40°C  |
| 相対湿度              | 最大90%、結露しないこと                                       |
| カードの性能            |   |
| 供給電圧              | 5V±5%   |
| 供給電流（すべてのLEDの点灯時） | 最大300mA   |
| 機能                |   |
| Web監視             | HTTP - 最大5つのブラウザー ウィンドウ<br>HTTPS - 最大3つのブラウザー ウィンドウ |

| 項目                       | 説明   |
|--------------------------|--|
| 言語                       | 英語または日本語   |
| アラーム                     | Email、SNMPトラップ、Webインターフェイス   |
| ログ                       | 400個の測定値またはイベント  |
| サーバー保護                   | 最大100台のサーバーを保護   |
| ネットワーク                   | Fast ETHERNET、10/100Mb/秒、オートネゴシエーション<br>HTTP 1.1、SNMP V1、SNMP V3、NTP、TFTP、SMTP、DHCP                    |
| 識別                       | ユーザー名とパスワード  |
| セキュリティ                   | SSL 3.0、TLS 1.0  |
| ブラウザー                    | Microsoft® Internet Explorer 6.x以降   |
| NMS                      | HP Systems Insight Manager   |
| MIB                      | 標準IETF UPS MIB (RFC 1628)<br>HP Power MIB (cpqpower.mib)   |
| 設定（デフォルト値）               |  |
| IPネットワーク                 | DHCP有効<br>IPアドレス：192.168.1.2（手動設定）<br>サブネット マスク：255.255.0.0<br>ゲートウェイ：0.0.0.0<br>NTPサーバー： pool.ntp.org |
| Webインターフェイス アクセス制御       | ユーザー名：admin<br>パスワード：admin   |
| Configurationメニューのアクセス制御 | パスワード：admin（変更不能）  |
| 日付と時刻                    | HP Power Protectorと同期  |
| 設定/AUXコネクタ               | 9600ビット/秒、8ビット、1ビット ストップ、パリティなし  |